

## 船舶事故調査報告書

平成25年1月17日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成24年4月3日 16時50分ごろ
発生場所	岡山県倉敷市水島港 水島港玉島乙島防波堤灯台から真方位141° 1,970m付近 (概位 北緯34° 30.5′ 東経133° 42.3′)
事故調査の経過	平成24年6月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	貨物船 <sup>にっとう</sup> 日東丸、187トン 134770、日東汽船株式会社 51.91m×8.30m×5.45m、鋼 ディーゼル機関、625kW、平成7年12月6日
乗組員等に関する情報	船長 男性 59歳 四級海技士（航海） 免許年月日 昭和50年12月19日 免状交付年月日 平成21年6月1日 免状有効期間満了日 平成26年10月8日
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷船首部外板及びバルバスバウ凹損、船底全般に擦過傷 護岸 防潮堤約18m損壊
事故の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、船首約0.8m、船尾約2.8mの喫水により、平成24年4月2日18時30分ごろ、荷役待ちのため、水島港玉島乙島防波堤灯台から真方位155° 1,975m付近の水深約5.2m、底質泥の水島港内の海域（以下「本件錨地」という。）に右舷錨を投入し、錨鎖を約3.5節伸出して錨泊した。 船長は、翌3日朝、船舶代理店に荷役予定時刻を問い合わせ、15時ごろを予定していると知らされた。 船長は、12時を過ぎて北寄りの穏やかな風が南西の風に変化して徐々に強まっていることに気付き、また、16時過ぎ、安全管理会社（以下「本件安全管理会社」という。）から船舶電話を受けて昇橋し、船体の安全状況を聞かれて異常ない旨を報告したが、荷役予定時刻が日没以降にずれ込む場合には安全を考慮して着岸を取りやめ、よ

	<p>り安全な場所に避難しようと思い、準備のため、15分ほどして機関を始動した。</p> <p>船長は、しばらくして本船の振れ回りが止まっていることに気づき、本船が走錨していることを知ったが、既に風下側の護岸に接近していたので、風上に向けるために機関を使用して右回頭すると船尾が護岸沖に拡延する浅所に乗り揚げるとの不安から機関を使用できず、16時50分ごろ本船は護岸沖の浅所に船首を南南東方に向けて乗り揚げた。</p> <p>船長は、機関を前後進に使用して離洲を試みたが離洲不能と判断し、16時53分ごろ、海上保安部へ118番通報したのち、本件安全管理会社等へ事故報告した。</p> <p>本船は、強い南西風と波を受けながら満ち潮に伴って徐々に北東へ圧流され、左舷船首部が護岸の防潮堤に接触を始めたが、21時08分来援したタグボートにえい航されて離洲し、自力航行して高島岸壁に着岸した。</p>																																																				
<p>気象・海象</p>	<p>気象：</p> <p>(1) 本件錨地から北東方11km付近に位置する倉敷市所在の倉敷地域気象観測所における気象観測値</p> <p>4月3日</p> <table border="0"> <tr> <td>13時00分</td> <td>風向</td> <td>西南西、平均風速</td> <td>4.7m/s</td> </tr> <tr> <td></td> <td>風向</td> <td>西南西、最大瞬間風速</td> <td>9.7m/s</td> </tr> <tr> <td>14時00分</td> <td>風向</td> <td>西南西、平均風速</td> <td>7.7m/s</td> </tr> <tr> <td></td> <td>風向</td> <td>西南西、最大瞬間風速</td> <td>14.7m/s</td> </tr> <tr> <td>15時00分</td> <td>風向</td> <td>西南西、平均風速</td> <td>12.1m/s</td> </tr> <tr> <td></td> <td>風向</td> <td>南西、最大瞬間風速</td> <td>23.9m/s</td> </tr> <tr> <td>16時00分</td> <td>風向</td> <td>南西、平均風速</td> <td>12.9m/s</td> </tr> <tr> <td></td> <td>風向</td> <td>南西、最大瞬間風速</td> <td>19.3m/s</td> </tr> <tr> <td>16時50分</td> <td>風向</td> <td>南西、平均風速</td> <td>10.3m/s</td> </tr> <tr> <td></td> <td>風向</td> <td>南西、最大瞬間風速</td> <td>19.4m/s</td> </tr> </table> <p>(2) 船長の口述による気象及び海象状況</p> <p>天気 曇り、風向 南西、風速 約28m/s、視界 良好、波高 約1.5m</p> <p>(3) 本件安全管理会社が本事故現場の北方約400mに位置する気象観測施設で観測した風向風速は次のとおりであった。</p> <p>4月3日</p> <table border="0"> <tr> <td>15時00分</td> <td>風向</td> <td>西南西、風速</td> <td>10m/s</td> </tr> <tr> <td>16時00分</td> <td>風向</td> <td>南南西、風速</td> <td>20m/s</td> </tr> <tr> <td>17時00分</td> <td>風向</td> <td>南、風速</td> <td>15～20m/s</td> </tr> </table> <p>(4) 岡山地方気象台における注意報等の発表状況</p> <p>① 4月2日 21時11分、岡山県全域に強風注意報、岡</p>	13時00分	風向	西南西、平均風速	4.7m/s		風向	西南西、最大瞬間風速	9.7m/s	14時00分	風向	西南西、平均風速	7.7m/s		風向	西南西、最大瞬間風速	14.7m/s	15時00分	風向	西南西、平均風速	12.1m/s		風向	南西、最大瞬間風速	23.9m/s	16時00分	風向	南西、平均風速	12.9m/s		風向	南西、最大瞬間風速	19.3m/s	16時50分	風向	南西、平均風速	10.3m/s		風向	南西、最大瞬間風速	19.4m/s	15時00分	風向	西南西、風速	10m/s	16時00分	風向	南南西、風速	20m/s	17時00分	風向	南、風速	15～20m/s
13時00分	風向	西南西、平均風速	4.7m/s																																																		
	風向	西南西、最大瞬間風速	9.7m/s																																																		
14時00分	風向	西南西、平均風速	7.7m/s																																																		
	風向	西南西、最大瞬間風速	14.7m/s																																																		
15時00分	風向	西南西、平均風速	12.1m/s																																																		
	風向	南西、最大瞬間風速	23.9m/s																																																		
16時00分	風向	南西、平均風速	12.9m/s																																																		
	風向	南西、最大瞬間風速	19.3m/s																																																		
16時50分	風向	南西、平均風速	10.3m/s																																																		
	風向	南西、最大瞬間風速	19.4m/s																																																		
15時00分	風向	西南西、風速	10m/s																																																		
16時00分	風向	南南西、風速	20m/s																																																		
17時00分	風向	南、風速	15～20m/s																																																		

	<p>山、東備、倉敷、井笠地域に波浪注意報が発表された。</p> <p>② 4月3日 04時25分、岡山県全域に強風注意報、岡山、東備、倉敷、井笠地域に波浪注意報が継続された。</p> <p>③ 4月3日 13時48分、岡山、東備、倉敷、井笠地域に暴風、波浪警報が発表された。</p> <p>④ 4月3日 17時50分、岡山、東備、倉敷、井笠地域の暴風、波浪警報が解除され、注意報に切り替えられた。</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期、潮高 約129cm（水島） 日没時刻：18時28分</p>
<p>その他の事項</p>	<p>船長は、テレビの天気予報を毎日見ており、本事故の前日には、翌日が荒天で南西の強い風が吹くことを知っていた。</p> <p>船長は、水島港の入港経験が豊富であり、荷役待ちの際に本件錨地を使用していたが、本件錨地において走錨の経験がなく、危険を感じなかった。</p> <p>本船は、南西の風が強まったのちも守錨当直を配置せず、レーダー、GPS及び国際VHF無線電話装置を休止しており、船長が、時折、昇橋して天候や船体の状況を確認していた。</p> <p>安全管理規程の運航基準には、次のとおり記載されている。</p> <p><b>第2章 運航の可否判断</b> (入港の可否判断)</p> <p><b>第4条</b> 船長は、入港予定地港内の気象・海象が別表に掲げる条件のいずれかに達して、輸送の安全の確保が難しいと判断される場合は、入港を中止し、適宜の海域での錨泊その他の適切な措置をとらなければならない。</p> <p><b>別表1 運航の可否判断の条件</b> 目的港への入港の可否判断</p> <p><b>第4条 港内の気象・海象状況</b> 風速 20m/s以上、波高 2m以上</p> <p>本船の錨は、ストックレスアンカーであり、錨の重量は635kg、錨鎖の長さは175mであった。</p> <p>水島港は、南に開けている。</p>
<p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本事故は、本船が、水島港内において錨泊中、南西風を受ける状況下、単錨泊を続けたことから、走錨して風下の護岸沖に拮延する浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、本件錨地で過去に走錨した経験がなかったことから、危険を感じていなかったものと考えられる。</p>

<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、本船が、水島港内において錨泊中、南西風を受ける状況下、単錨泊を続けたため、走錨して風下の護岸沖に拡延する浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>本件安全管理会社は、本事故後、荒天が予想される場合、本件錨地を含む陸岸近くでの錨泊を禁止し、沖出しをするか、玉島の公共岸壁が使用できるようであれば、同岸壁に係留するよう指導している。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 錨泊中に天候の悪化が予想される場合、岸壁に係留するなどの避難措置を早期に講じること。</li> <li>・ 荒天時に錨泊を継続せざるを得ない場合は、錨鎖の伸出等の荒天に備えた錨泊措置を講じ、守錨当直を行い、機関を使用できるようにしておくとともに、レーダー、GPSなどを使用し、走錨に早期に気付くようにしておくこと。</li> </ul>